

50101陸上貨物取扱業における死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2020	1	21 ~ 22	センター内1階作業場で台車（高さ165cm、幅98cm、奥行き43cm）に酒（900ml×6本が入った段ボール24ケース）を積んで、台車の幅の広い方を持ち、引きながら移動していた。その際、自分の方へ台車を引いてしまい、荷崩れを起こして右足が下敷きになり、右足踝、右足関節内果を骨折した。	45	4	611	100 ~ 299
2	2020	1	11 ~ 12	フォークリフトを使ったピッキング作業中、納品書をドライバーに渡すためにフォークリフトに乗ったままバックし、プラットホーム近くで停車させようとした。そのとき、止まりきれずフォークリフトごとプラットホームに落下し、左手指と左足踵を骨折した。	59	1	222	300 ~ 499
3	2020	1	12 ~ 13	検品作業場で、ビニールに入った洋服を検品台で検査しているとき、検品場所と次の商品のストック場所が近くだった（約2m）ので、そのまま後ろを向いたまま検品台まで行こうとした。そのとき、プラスチックのパレットに乗ったところ、若干沈んだため、バランスを崩して後ろ向きに転倒し、後頭部を打撲した。	72	2	416	50~ 99
4	2020	1	11 ~ 12	ターミナルで空コンビテナーの整理中、1台のコンビテナーの左側が開き、バランスを崩したコンビテナーが倒れ、左足に靭帯損傷を負った。	68	5	362	300 ~ 499
5	2020	1	22 ~ 23	会社構内の洗車場でトラックの洗浄中、ボデー上部をブラシで洗おうと脚立に登ったとき、足が滑って転倒し、頭蓋骨を折った。	51	1	371	1~9

6	2020	1	6 ～ 7	サービスエリアで、積荷の点検中、荷台上でバランスを崩し転落し、頭部（ヘルメット着用）と左肩を打った。その際、急性硬膜下血腫を負った。	57	1	221	50～ 99
7	2020	1	16 ～ 17	仕分け場で、荷引き作業中、ローラをまたいだ際、ベルトコンベアー下部のベアリング出っ張りに、左足が引っ掛かってひねり、左足甲を骨折した。	59	3	224	100 ～ 299
8	2020	1	15 ～ 16	事業所2階リザーブエリア内の入庫作業中に、商品を棚から引き出して下ろそうとして指が滑り、バランスを崩して脚立（3段目、約70cm）から飛び下りた。その際、左足踵から着地し打撲挫傷を負った。	62	3	416	300 ～ 499
9	2020	2	11 ～ 12	仕分けの荷物を取るために、パレットとパレット間を歩行していた際、スペースが狭いため、バランスを崩して右足をひねり、右足外側側面骨折を負った。	36	19	417	500 ～ 999
10	2020	2	3 ～ 4	倉庫内でフォークリフトの爪の上に乗る（高さ50cm）棚から商品を取ろうとしたところ商品を落とし、そのはずみで転倒し左脇腹および右肋間筋挫傷を負った。	47	1	222	30～ 49
11	2020	2	10 ～ 11	物流倉庫3階のピッキングスペースで、フォークリフトで押し込まれた台車とその先にあった棚が押し込まれ、棚部分が被害者の額部分に当たり、頸椎を捻挫した。	38	6	222	50～ 99
12	2020	2	15 ～ 16	倉庫内で、パンの箱を積む作業中、中腰姿勢で長時間作業した際、腰痛を負った。	26	19	921	30～ 49
13	2020	2	3 ～ 4	構内で仕分け作業中、側溝の蓋（約120kg）を仕分けようと持ち上げた際、力を入れた瞬間に「パキッ」と耳元で音が聞こえ、その後めまいやふらつきがあり、右耳外リンパろうを負った。	52	19	611	30～ 49
			12	センター冷蔵室で、通路に置いてあったパレットを柱の前で立て、一時置いておこうとしたところ、右後方から来たフォークリ				50～

14	2020	3	13	フト（同僚が操作）に気付かず、通路に少しはみ出した右足に、フォークリフトのタイヤが乗り上げてし、靴の一部が破損して右足に裂傷を負った。	19	7	222	99
15	2020	3	4 5	仕分け作業時、番重5枚（約35kg）を持ち上げた際に、右手人差し指と中指が滑り、薬指のみで番重を支える状態となり、右手薬指を脱臼した。	53	19	921	50～ 99
16	2020	3	13 14	3階作業場で出荷補充Pick作業中、ネステナに保管されている商品1ケースをPickするとき、ネステナ2段目によじ登り（本来はフォークOPに引き継ぐ）、下りるときに足を掛けていた2段目のパレットが奥に滑りバランスを崩して転倒し、左骨盤を折った。	35	1	419	50～ 99
17	2020	3	19 20	センターに到着後、伝票を見ながら歩いていたところ、玄関の階段を踏み外し、右足首に全体重が掛かったまま転倒して、右足首を剥離骨折した。	26	1	413	10～ 29
18	2020	3	3 4	ホーム到着便の荷受け業務に就き、勢いを付けカーゴを後方へ送ろうとしたとき、軍手とカーゴが凍結により張り付いて、右腕が後方まで持って行かれ、右肩関節を脱臼した。	21	19	715	50～ 99
19	2020	3	11 12	工場で商品の組み立て梱包作業中、L字アングルをカッターで切る際、カッターの刃を長く伸ばして作業していたため手元が狂って、左手甲人差し指の根元に10針縫う切創を負った。	52	8	364	10～ 29
20	2020	3	15 16	倉庫内で出荷作業中、空パレットの隙間に足を踏み入れて転倒し、左膝・左手関節に捻挫、左膝関節に血腫を負った。	48	2	379	100 ～ 299
21	2020	4	13 14	自社物流センター内で、納品された飲料の一部が、カゴテナーの中で押し潰されていたため、自分の右側面に新しいカゴテナーを置き、体を反転させるようにして積み替え作業を行っていた。一番下段（膝より下）にあった飲料（重量12kg）を新しいカゴテナーの上部（肩より上）に積み上げようとした際、勢いをつけたために腰をひねり、急性腰痛症を負った。	69	19	921	100 ～ 299

22	2020	4	14 ～ 15	工場構内で化学製品（粉体）充填ライン（スクリーコンベア）の清掃作業を行っていた。空運転を行ったが、スクリーコンベア内の付着物が多かったため、本来停止すべきところを停止せず右手を入れ、付着物を取り除こうとした。その際、スクリー部にゴム手袋をした右手を巻き込まれて右手人差し指擦過傷、中指挫創、薬指骨折を負った。	52	7	224	1～9
23	2020	4	15 ～ 16	自社倉庫内で出荷作業中、重量ラックの最上段（3段目）の商品を、脚立を使い、両手でピッキングした際にバランスを崩し、商品の段ボール箱が落下しないように押さえたときに、左肩に痛みを感じ負傷した。	68	19	611	100 ～ 299
24	2020	4	14 ～ 15	会社の移転作業中、台車に載せた什器を搬出し、トラックのタワーゲートの前に順番に置いていった。そのとき、強風のため、台車に載った木製の書庫が動き、止めに行ったところ左鎖骨に向かって書庫が倒れてきて、左鎖骨を折った。	54	5	611	1～9
25	2020	4	15 ～ 16	出庫作業時、プール入庫口側で、荷物が停滞していたため、小走りで確認した際、メッシュのつなぎ目をつまずき前方へ転倒した。このとき、左膝をメッシュに強打し、左膝挫創、右膝・左胸部に打撲を負った。	49	2	417	10～ 29
26	2020	4	11 ～ 12	コンテナから降りる際に、左足小指の付け根辺りから着地して骨折した。	29	3	417	50～ 99
27	2020	4	14 ～ 15	作業場でロールボックスパレット（中間棚あり）に荷物を載せる作業をしていた。棚の上段に荷物を載せるため、パレットの床板（高さ約20cm）に乗って下りるときに、バランスを崩して落下し、左足をひねって捻挫、靭帯損傷を負った。	25	1	361	1000 ～ 9999
28	2020	4	11 ～	倉庫内で出荷作業中、商品載せるパレットを持って移動していた際、手が滑ってパレットを落とし、左足親指に当たって骨折し	27	4	379	100 ～

			12	た。				299
29	2020	5	11 ～ 12	飲料缶のフィルムセット包装作業（シュリンク作業）で、最終検品中にアウト品を発見し、投入口へアウト品を持っていくときに急いでいたため下をよく確認せず、床の配線コードに足を引っ掛けて転倒した。その際、膝を床にぶつけ、左膝関節を骨折した。	54	2	417	—
30	2020	5	17 ～ 18	冷凍生産加工場で片付け作業中、足下にあったドーリーに足を引っ掛けて、バランスを崩して前のめりに転倒し、右手に体重が掛かり、手首を骨折した。	71	2	417	100 ～ 299
31	2020	5	15 ～ 16	トラック運転手として運送業務中、荷受場所に到着後、1人で荷積み作業を行った。作業終了後、雨天のため荷台上でシートを覆う作業をしていたところ、足を滑らせ車体下に転落し、左足踵を骨折した。	44	1	911	100 ～ 299
32	2020	5	9 ～ 10	大小型家電用品物流倉庫内で、冷蔵庫を台車から下ろす作業中、バランスを崩し、冷蔵庫とともに右後方に倒れた。その際、冷蔵庫を右腕で支える状態になり、右肘挫傷および擦過傷を負った。	53	2	379	50～ 99
33	2020	5	14 ～ 15	倉庫内で、製品格納のため自動搬送機を手動で操作中、右足がはみ出していたため、自動搬送機とサイドカバーの間に右足が挟まれ、右第4趾を骨折した。	59	7	229	100 ～ 299
34	2020	5	13 ～ 14	倉庫内ピッキング作業で、台車上の商品を取ろうとしたとき、ペット商品が入っている段ボールの角が左目に入ってしまったため、左目角膜上皮剥離を負った。	45	3	611	1～9
35	2020	6	14 ～ 15	構内に置いてあるハンドリフトを跨ごうとした際に、2歩目の左足がハンドリフトに引っ掛かり、転倒して左上半身を強打し、肋骨1本前面を折った。	41	2	362	300 ～ 499
36	2020	6	0 ～ 1	貨物ターミナル駅構内で貨物列車の組成点検中、徒歩で移動していたところ、歩行路の一部が欠損していることに気付かず左足を踏み外してバランスを崩して転倒し、足首をひねって左足関節外	44	2	417	50～ 99

				果骨折を負った。				
37	2020	6	5 ～ 6	トラックコンテナへ商品を積み込み作業中、空になったパレットを荷台の外に積み上げていた。サイズの違うパレットを同じ山に積み重ね、はみ出た部分に足を乗せてしまい、パレットが浮きあがり地面に落下し、右足踵を骨折した。	51	1	379	50～ 99
38	2020	6	14 ～ 15	営業所内で、段ボールが3段程度積んである台車を、プラットホームの反対側からプラットホーム側にフォークリフトで移動していたとき、台車の左前方に人がいることに気付かず接触した。その際、被災者は右足を挟まれ、右脛骨高原骨折を負った。	71	6	222	30～ 49
39	2020	6	16 ～ 17	業務終了後、退勤のため階段を下りていたところ、バランスを崩して着地した際に、左足を捻挫した。	66	19	413	10～ 29
40	2020	6	15 ～ 16	物流倉庫で包装作業中に、段ボールで右掌側面に切り傷を負った。	34	8	379	10～ 29
41	2020	6	11 ～ 12	冷蔵倉庫内で出庫作業中、段積みされていた荷物をフォークリフトで床に下ろし、そのパレットに積まれている荷物を他の場所へ積み替えるため、フォークリフトから降車し、荷物に向かって歩き出した。その際、足がよろけて転倒し、手を床につき、右手首を骨折した。	43	2	417	30～ 49
42	2020	6	4 ～ 5	商品（約5～20kg）の仕分け積み込み作業中、荷物を持ち上げようとした際、腰に痛みを感じ、腰部捻挫および左背部挫傷を負った。	36	19	611	50～ 99
43	2020	6	9 ～ 10	リーチフォークリフト業務に従事する中で、リーチフォークリフト運転では、左足でアクセルペダルを踏み続けながらの作業となっている。その際、体勢が常に半身の状態となり膝に負荷が掛かり、左膝に半月板損傷を負った。	50	19	921	100 ～ 299

53	2020	7	16 ～ 17	倉庫内で棚出し作業をしているとき、棚間や階段（2～5段）で踏み台や階段の上り下りを一日中何度も繰り返したことで、両足に痛みを発症した。しかし、終業時間まで我慢しながら作業を続けたところ、両側下肢に筋炎を発症した。	37	19	371	1000 ～ 9999
54	2020	7	14 ～ 15	倉庫内で、商品を積んだカゴ車を移動中、車輪に足を挟み、転倒し、商品仕分けレーンに右脇腹を打った。その際、両拇趾を打撲し、肋骨を折った。	40	2	362	100 ～ 299
55	2020	7	17 ～ 18	傾斜型切断機で長尺の板材を10cm幅に切断中、10cmギリギリに短くなった板材を切断しようとして、切断機に付いている板材を押しやるワークに手を入れて、右手中指を欠損した。	50	7	156	10～ 29
56	2020	7	10 ～ 11	流通センターホーム上で、リーチリフトでバック走行中、主柱に接触しそうになったため、慌ててリーチリフトから飛び降りたところ、ホーム上が濡れていて本体車輪が滑走、左足指先を通過し、第3、5中足骨、拇指基節骨を折った。	52	7	222	50～ 99
57	2020	8	11 ～ 12	コピー複合機の搬入作業のため、4名で持ち上げ移動していた。その際の階段で一度機械を降ろしたときに、段差をかわし切れずに段差との間に指を挟んで、右手中指に裂傷を負った。	24	7	611	30～ 49
58	2020	8	17 ～ 18	倉庫内で出荷作業中、パレットから家具（40×40×180、29kg）を下ろそうとしたところ、パレットから家具が滑り落ち、左足甲を打撲した。	34	4	379	100 ～ 299
59	2020	8	16 ～ 17	入社してしばらくして、仕事に関する指導の口調がきつく、精神的に辛くなり、不安や恐怖心が取れず会社へ出勤するのが辛く、夜中も途中で目が覚めたりすることがあり、急性ストレス障害を発症した。	54	90	999	100 ～ 299
60	2020	8	16 ～ 17	空港貨物ビルで、TT車に乗務して貨物のハンドリング作業中、軽い頭痛があり、首に保冷剤を当て、休憩しながら作業を続けていた。2時間後に頭痛に加えて脱力感があり、保冷剤で両脇と首を冷却し休憩していたが、水分補給ができず37度の熱もあり、熱中症	19	11	715	100 ～ 299

				を発症した。				
61	2020	8	14 ～ 15	営業所内荷降ろし場で、国内入荷の荷降ろし時、商品の入荷個数が通常に比べ非常に多かったため、被災者もトラックコンテナ内に入り商品の移動を手伝っていた。そのとき、商品を車両（トラック）奥から手前に複数個まとめて押し動かしていたところ、車内左側に避けていた商品に左手小指がぶつかり、軍手をしていたが突き指状態になって、左手小指を骨折した。	40	19	611	50～ 99
62	2020	8	10 ～ 11	仕事の話をしているうちに、会話がエスカレートし、逆上して走り去ろうとしたとき、バランスを崩し転倒した。咄嗟に左手で近くの棚を掴んだ際、左手指（中指・薬指・人差し指）に創傷を負った。	26	8	391	50～ 99
63	2020	8	11 ～ 12	生産工程で、排出された粉が入っているバックを回収するため電動ホイストで吊り、バックの上に乗った際、バランスを崩し1.6m落下した。このとき、肋骨・鎖骨・肩甲骨を折った。	44	1	611	10～ 29
64	2020	8	8 ～ 9	荷の向きを変えるため、フォークリフトから降ろし、両脇を2人で持って寝かせようとした際、倒れるように持っていかれ荷と床の間に指先を挟み、右人差し指を骨折した。	44	7	522	1～9
65	2020	8	21 ～ 22	休憩室出入口の外階段（全5段）を踏み外し前方に転倒した。両手をついて支えようとして顔面を強打し、両手と顔面に骨折と打撲を負った。	56	2	413	50～ 99
66	2020	9	16 ～ 17	集配助手として業務終了後、洗車のためトラクタヘッドから降車する際、ステップに足を掛けることに気を取られ、洗車場のコンクリートとアスファルトの境部分に段差があることに気付かず踏み込み、転倒して左足首を捻挫した。	42	2	417	30～ 49
67	2020	9	11 ～ 12	2m×1mの板物をパレットへ移し替えるため担ごうとした際に、左脇腹を痛め、左肋間筋の筋肉損傷を負った。	63	19	522	100 ～ 299

68	2020	9	8 ～ 9	朝の通勤時、営業所敷地外にある従業員駐車場から営業所へ向かう際、雨で傘を差しながら歩いており、水たまりを跨ごうと足を伸ばし、着地しようとしたとき、大きめの石を踏んでバランスを崩して転倒し、右足踝を骨折した。	55	2	417	100 ～ 299
69	2020	9	9 ～ 10	空港の保税蔵置場1Fオフロードエリアで、ULD内から検疫疑義貨物の検索のため、ステップ（箱型・3階段）を用いて業務にあたっていた。ステップの上に乗って検索作業を始めるとき、幌の下のロックが掛かっており、外すために後ろ向きで階段を下りたところ、ステップの一部が下のローラーに掛かっていたため、ステップ自体が右側に動き出した。その際、咄嗟に左足をついたがバランスが取れず、左足をひねるように左背面から転落し、左足に靭帯損傷を負った。	47	1	419	30～ 49
70	2020	9	14 ～ 15	出荷作業中、コンベアを跨いで商品を取ろうとしたとき、転倒して、右大腿骨を折り、右膝を負傷した。	53	2	224	50～ 99
71	2020	9	0 ～ 1	センター内で商品が載ったカゴ車の運搬中、他のカゴ車と接触し、その反動でカゴ車のバーが外れた。その際、カゴ車を握っていた左手が、カゴ車の支柱とバーに挟まれ、親指に挫傷を負った。	41	7	362	100 ～ 299
72	2020	9	12 ～ 13	マンションでの引っ越し作業中、洗濯機を1人で階段を使って運んでいるときに、最後の段で踏み外して足をひねって着地し、右足首に靭帯損傷を負った。	22	2	413	500 ～ 999
73	2020	9	21 ～ 22	運送会社の荷物仕分け場で作業を終了後、ベルトコンベアー上の残荷を除去していたところ、別の社員がベルトコンベアーを起動したため、ベルトに右手が接触して小指を骨折した。	18	6	224	1000 ～ 9999
74	2020	9	13 ～	トラックに製品を積み込んだ後、ワイヤーをアオリの下にある箱に収めていた際、支えきれずにアオリが落下して後頭部を強打し、その後軽トラックに乗り込む際、フレームで頭をぶつけた。	45	3	221	50～

			14	ヘルメットを着用していたが、右上肢不全麻痺と外傷性頸部症候群を負った。					99
75	2020	10	8 9	優先道路を手押し信号が青で直進中、相手方が一時停止していたが、対向車とすれ違った瞬間急に相手が飛び出してきて、運転席の横に追突され、頸椎捻挫、右肩打撲、腰部打撲等を負った。	54	17	231		30～ 49
76	2020	10	16 17	上層の作業場より下層の作業場へフォークリフトで移動中、スロープを下りる際、フォークリフトが停止しなかったため、縁石とフォークリフトの間に左足を挟み、左下肢不全切断を負った。	41	7	222		100 ～ 299
77	2020	10	7 8	営業所倉庫内の清掃作業中、簡易エレベーターでごみを2階から1階に下ろす作業をしていた。その際、1階で作業中、2階に置いてあった不燃ごみが落下し、額に裂傷を負った。	44	4	611		30～ 49
78	2020	10	15 16	水のペットボトル入りケース（計12kg）のピッキングで、ケースピッキングの補助として、飲料ケースをパレットに移す作業をしていた。そのとき、1mの高さの在庫から高さ50cmのパレットに積み付けした際、急性腰痛症を発症した。	57	19	611		10～ 29
79	2020	10	9 10	作業中、専用台車（カゴ台車）を畳むために中仕切りを上を持ち上げようとしたとき、右肩に痛み（外傷なし）を感じ、右肩関節周囲損傷を負った。	68	19	362		100 ～ 299
80	2020	10	9 10	センター内でパレットにオリコンを積む際、脹脛に肉離れを起こした。	41	19	921		100 ～ 299
81	2020	10	16 17	作業場で、仕分け中にローラーを長く延ばす際、ローラーのタイヤに足がひかれて、左足趾伸筋腱損傷を負った。	32	7	391		1～9
82	2020	10	11 12	古紙回収場所で、古紙をパッカー車に投げ入れて積み込みしている際、手が思いのほか奥に行ってしまう、パッカー車の回転板に接触し、左手小指に裂傷を負った。安全手袋は着用していた。	49	7	229		10～ 29

83	2020	10	13 ～ 14	校舎の周りで搬入経路を確認中、コンクリートの段差が草で隠れていたため踏み外して、右足小指の付け根をひねって骨折した。	50	19	418	10～ 29
84	2020	11	16 ～ 17	倉庫2階で作業を終え1階に戻る際、ローラーコンベアを跨いだときに何かを踏んでバランスを崩してお尻をつく状態で転倒し、左足首をひねり外側踝の捻挫、靭帯断裂を負った。	37	2	417	10～ 29
85	2020	11	16 ～ 17	ハイマスト仕様のフォークリフトを操作し、テナーを倉庫外へ搬送しようとしていた。その際、搬出出入口上部にマストが接触してフォークが急停止し、操作部（運転席）から投げ出されて地面に転落して腰を強打し、腰椎3番圧迫骨折を負った。	62	1	222	100 ～ 299
86	2020	11	13 ～ 14	入庫業務中、移動してくるフォークリフトが物陰で確認できず、接触し、タイヤで右足を踏まれ、右足指の脱臼を負った。	40	7	222	300 ～ 499
87	2020	11	10 ～ 11	事業場でトラックの荷台を掃除した際、荷台から降りるときに滑って右足の踵を骨折した。	50	1	221	1～9
88	2020	11	13 ～ 14	倉庫内にて、補充用のパレットから塩の入ったケースを台車に載せて運ぼうとしたところ、数量が多く重かったため、小さな段差が超えられず、勢いをつけて引いた。その際、載せてあった塩のケースが崩れ、自身の右足に落下し、リスフラン関節脱臼を負った。	52	4	611	50～ 99
89	2020	11	10 ～ 11	派遣先で、段ボールラックの途切れ部分（十字路）に入りピックアップ作業中、通路にはみ出していたカゴ台車を、通路を直進する他のピックアップスタッフが手で被災者側に押して移動した。その際、驚いて咄嗟に体をひねり接触を避けようとして、腰椎を捻挫した。	43	19	362	100 ～ 299
90	2020	11	13 ～	構内で、トラック荷台で玉掛け作業中、足が滑り落下し、左橈骨	50	1	221	1～9

			14	を折った。				
91	2020	11	7 ~ 8	配達先の構内で、荷卸し中、荷のラップを外している最中、バックしてきたリフトに足を轆かれて、左大腿骨を折った。	37	6	222	10~ 29
92	2020	11	9 ~ 10	作業場で、パレットサポーターを組立中、材料のパイプを運んでいたところ、組立途中のパレットサポーターのストッパーが機能しておらず、突然倒れてきて、膝・腹部・背中・腰を強打し、壁とパレットサポーターに挟まれた衝撃で首に打撲を負った。	36	5	391	10~ 29
93	2020	12	17 ~ 18	トラックホームから下に下りる際、左足を挫いて左足踵を亀裂骨折した。	43	3	418	50~ 99
94	2020	12	13 ~ 14	ポテトが積まれたカートラをゲートから下ろしたとき、先に下ろしていた冷凍品カートラが進路を塞いでいた。そのため、体を後ろ向きのまま片手で10cm程度押して、進路を開けようとしたが、地面にあったくず石で、冷凍品カートラの向きが変わって倒れ掛かり、バランスを崩して地面に尻もちをついた。そこへ冷凍品カートラが腹部付近に倒れ、下敷きとなり第12胸椎圧迫骨折、第4・5腰椎圧迫骨折を負った。	55	5	362	100 ~ 299
95	2020	12	15 ~ 16	洗浄作業中、洗浄ラインで番重が詰まったため、洗浄機の蓋を外し、鉄の棒を使い（てこの原理で）取り出そうとしたところ、棒と洗浄機の鉄枠部分に挟んだ右手第2指を骨折した。	34	7	364	100 ~ 299
96	2020	12	21 ~ 22	小物仕分け作業中、フリーローラーのジョイント部分がずれていたため、元に戻そうと3人で声掛けをし、ローラーを押したとき、ジョイント部分に指を挟み、右手第2・第5指先を骨折した。	30	7	224	300 ~ 499
97	2020	12	20 ~ 21	倉庫内4階で棚入れ作業をしているとき、商材置き場でカートからパレットへ荷物を積み替えていたところ、カート底面からパレット3段目へ持ち上げたとき、腰に痛みが発症し、腰部を捻挫した。	40	19	611	1000 ~ 9999

98	2020	12	11 ～ 12	倉庫で、出庫品が入った箱（16kg）を手押し台車からパレットに載せる作業中、他の作業員がこの台車を移動したため、左足を置いた場所に台車があり、バランスを崩し転倒した。このとき、右肘骨折、頭部打撲を負った。	51	2	379	50～ 99
99	2020	12	14 ～ 15	倉庫2階で、パレットに乗った商品を降ろす作業中、パレットの端で足がつまずき転倒し、右手首を骨折した。	47	2	379	50～ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。